

平成 11 年 7 月 16 日

中高生の居場所作り…ロック演奏もOK！

児童館に中高生のための音楽室オープン

東池袋児童館で本日オープニングセレモニー

夏休みを前にしたこの 7 月、区内二つの児童館に中高生のための音楽室が整備され、中高生の利用が広がっている。

今回、音楽室が整備されたのは豊島区立東池袋児童館（東池袋 2-38-10 館長：中島保男）と千早児童館（千早 3-13-9 館長：森田健夫）。

豊島区には、大きな公園や広場などのオープンスペースが少なく、また中高生の利用に対応できる公共施設がこれまであまりなかった。一方、中高生を取り巻くさまざまな問題が社会的にも関心が高まる中、区では中高生のための居場所作り事業として、今年度児童館機能の強化を進めている。まず、この 4 月より区内 24 の児童館のうち 5 館で、午前 9 時から午後 5 時の開館時間を午前 10 時から午後 6 時に変更した（月～金曜）。これに続いて、防音設備（千早児童館については既存の防音室を活用）と各種楽器類を備えた中高生のための音楽室が、区内では初めての試みとして、前述の 2 館で整備された。

本日午後 4 時半よりオープニングセレモニーが行なわれる東池袋児童館は、池袋駅にも近く周囲をオフィスビルに囲まれた一角に位置しており、放課後のあそび場として近隣子どもたちが多く利用している施設であるが、やはりこれまでは小学生の利用が主だった。昨年度の年間延べ利用者数を見ても、小学生 14,000 人以上に対し中学生 1,850 人、高校生 1700 人とそれぞれ 1 割程度にすぎなかったが、今年 4 月の開館時間変更で放課後から夕方に利用できるようになったことから、今年度は特に中学生の利用が 6 月までの 3 ヶ月ですでに 1,300 人を超えている。また今回、5 月から 7 月にかけて施設内の 1 室に防音工事を施し、エレキギターやドラム、アンプなどの楽器を整備、先週から利用を開始したところ、まだほとんど PR をしていないにもかかわらず、口コミで申込みが集まってきている。

これまで館内の一角を中高生のフリースペースとして「宇宙（コスモス）」と呼んでいたことから、今回の音楽室も「コスモススタジオ」とネーミング。すでにいくつかのバンドがグループ練習を始めており、本日のオープニングセレモニーでは、そのうち中学生と高校生の各 1 グループが、音楽室の完成を祝って演奏を行う。また、小学生グループによるダンスも花を添える予定である。

セレモニーを前に練習に励む中学生たちは、「まだバンドの名前も決まっていないけど、夢はプロデビュー」と真新しいドラムやギターを相手に、人気ロックグループ「GRAY」の曲に挑戦していた。

詳細：児童女性部 管理課